

後期高齢者直腸がんに対する準標準治療（放射線化学療法＋局所切除）の確立に向けた地域サーベイランスの実施

国立がん研究センター東病院
研究事務局 佐々木剛志
加藤博樹
研究責任者 後藤田直人

研究の意義

現在行われている早期直腸がんの標準治療は、一部（内視鏡的治療が可能な早期直腸がん）を除いて進行直腸がんと同じ外科的治療とされています。しかし外科治療が行われることで永久人工肛門を余儀なくされたり、たとえ肛門が温存されても肛門機能の低下（漏便）、直腸機能の低下（頻便）、その他排尿障害など生活に影響を与える障害が高い確率で生じます。この現象の発生率は高齢者ほど顕著であります。一方欧米では早期直腸がんの治療として放射線化学療法後に局所切除術を行う方法が行われており、その根治性は標準治療（外科手術）に劣りますが侵襲面、機能温存面で上回ると報告されています。今後我が国においては高齢者人口、がん患者の増加が予想されます。個々人の健康に対する多様化に対応するために標準治療以外により患者侵襲の少ないが根治性では劣る準標準治療の確立が必要であると考えます。

本研究では早期直腸がんの標準治療である外科手術に対して、放射線化学療法とその後の局所切除を準標準治療と位置づけ、準標準治療に対するニーズに関して調査を行います。高齢者直腸がん患者様に対する準標準治療の確立に繋げることが本研究の意義であります。

目的

後期高齢者の早期直腸がん患者様がどのような治療を選択したかを調べます。それに引き続き準標準的治療へのニーズが患者様にどの程度存在するのかを確かめます。

対象

平成 28 年 10 月より 1 年間で国立がん研究センター東病院および地域協力病院（後述）における 75 歳以上の早期直腸がんの方です。

方法

対象患者様の臨床情報を収集します。収集する情報としては施設名、ID 番号、

イニシャル、年齢、性別、心血管合併用の有無、認知障害の有無、腫瘍の場所、深達度、予定治療法です。

個人情報に対する配慮

本研究で収集する情報には個人を特定できる氏名などは含みません。収集した情報は国立がん研究センター大腸外科研究事務局施設内の施錠された室内において厳重に保存します。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

国立がん研究センター東病院 大腸外科 佐々木剛志 加藤博樹

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL:04-7133-1111/FAX:04-7131-4724

登録依頼の候補病院

<千葉県>

| | | |
|-------------|------------|----------|
| 慈恵医大付属柏病院 | 柏市立柏病院 | 松戸市立病院 |
| 日本医大北総病院 | 柏厚生病院 | 小張総合病院 |
| 東京女子医大八千代病院 | キッコーマン総合病院 | 千葉西病院 |
| 東葛病院 | 流山中央病院 | 船橋医療センター |
| おおたかの森病院 | 谷津保健病院 | |

<埼玉県>

| | | |
|---------|--------|--|
| みさと健和病院 | 庄和中央病院 | |
| | | |

<茨城県>

| | | |
|------------------------|---------|--|
| 取手北相馬保健医療センター 医師会病院 | 水戸赤十字病院 | |
| | | |